

# 応募資料

- 次のページからの内容を含んでいれば、形式は問いません
- **PDF**ファイルを電子メールにて以下にご提出下さい（シート作成に使用するソフトウェア（TeX,Word,PowerPoint等）は問いません）。  
送付先：`kgrc[あっと]knowledge-graph.jp`
- 最終発表・表彰式において**15分**のプレゼンテーションをお願いします。
  - 応募資料の内容に基づいて、ご自由にアピールをお願いいたします。

# 応募者に関する情報

- 氏名またはチーム名：
- 所属：
- メールアドレス（代表）：

# 資料の共有について

- 応募資料公開の可否（公開してよい／非公開とする）
- 公開形式：
  - ナレッジグラフ推論チャレンジのサイトで公開
  - 独自のサイトで公開してリンクを希望
    - 公開先URL（※）：
- 応募したプログラム，データ等
  - 公開の可否（公開してよい／非公開とする）
  - 公開形式（公開してよい場合）：
    - ナレッジグラフ推論チャレンジのサイトで公開
    - 独自のサイトで公開してリンクを希望
      - 公開先URL（※）：

※公開先URLについては，後日，公開先が決定してからご連絡いただいてもかまいません。

※ナレッジグラフ推論チャレンジ関連イベントで応募資料の一部を使用させていただくこともあります

# 盛り込む内容

- 取り組んだタスクの種類
  - タスク1：危険な状況の検出
  - タスク2：生活行動ナレッジグラフの作成
  - タスク3：定量的評価基準の作成

# タスク1に取り組んだ場合

- リスク検知の対象データ（ナレッジグラフ／動画／両方）
- 定義したリスクの種類
- 検知したリスクの種類、数
- リスク検知の例
  - ナレッジグラフの該当箇所／動画のフレームID
  - 検知したリスクの種類
  - リスクの説明（なぜそれがリスクなのか）
  - 解決策、代替案
- 検知（推論）過程の技術的な説明
- 技術的工夫、追加した知識
  
- 以下付録として添付
  - 公開データで結果を再現するための手順
    - Githubなどでシステムを公開し、そのシステムの使い方を説明することを推奨
  - 未公開（検証用）データでシステムを検証するための手順
  
  - パフォーマンス情報（計算機のスペック、実行時間、使用するメモリなど）
  - 参考情報（もしあれば応募者のWebサイトや関連する論文など）

# タスク2に取り組んだ場合

- もとにしたデータ
  - 生活行動を表現する自然言語による記述（もしあれば、出典）
  - 既存の生活行動ナレッジグラフ
  - その他
- 生成したデータの種類（ナレッジグラフ／動画／台本データ／その他）
- 生成したデータ数
- 変換例
- 変換の技術的解説
- 以下付録として添付
  - 結果を再現するための手順
    - Githubなどでシステムを公開し、そのシステムの使い方を説明することを推奨
  - 新規データでシステムを検証するための手順
- パフォーマンス情報（計算機のスペック，実行時間，使用するメモリなど）
- 参考情報（もしあれば応募者のWebサイトや関連する論文など）

# タスク3に取り組んだ場合

- 作成した指標
  - どのような状況がより危険であるか示す数値指標
  - 出力する代替案が、どれだけ安全・安心で、主人公の目的達成を妨げないかを示す数値指標
- 指標の解説
- 例
  - どのような入力に対し、どのような出力が得られるのか具体的に示す
- システムとして実装した場合
  - 結果を再現するための手順
    - Githubなどでシステムを公開し、そのシステムの使い方を説明することを推奨
  - 新規データでシステムを指標数値を得るための手順
  - パフォーマンス情報（計算機のスペック、実行時間、使用するメモリなど）
- 参考情報（もしあれば応募者のWebサイトや関連する論文など）